農林水産省登録 第23473号

微生物殺菌剤

インプレッション クリア

インプレッションクリアは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

うどんこ病・灰色かび病等、各種病害防除に!

オクラのうどんこ病・灰色かび病の予防にも!!





IPMにもオススメです!

特別栽培、有機JAS農産物にも
使用できます







微生物殺菌剤

インプレッションクリア

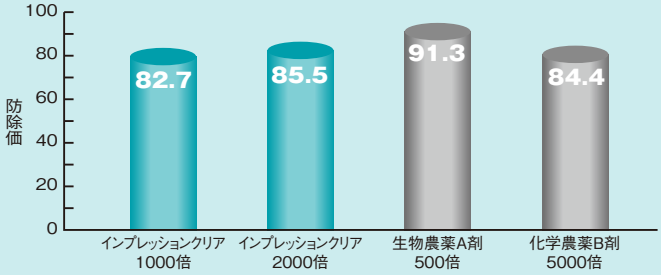
インプレッションクリアは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

農林水産省登録：第23473号
有効成分：バチルス アミロリクエファシエンス AT-332株の生芽胞（5×10^{9}CFU/g）
性　　状：類白色水和性粉末
毒　　性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
有効期限：3年
規　　格：100g×40、500g×10

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	バチルス アミロリクエファシエンスを含む農薬の総使用回数
野菜類	うどんこ病、灰色かび病	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	発病前～発病初期	散布	—	—
にら、にら（花茎）	白斑葉枯病						
なす	すすかび病						
トマト、ミニトマト	すすかび病、葉かび病	1000倍					
ピーマン、ししとう 甘長とうがらし、ハバネロ	黒枯病						
しょうが、葉しょうが	白星病						
しそ	斑点病						
食用ゆり	葉枯病						
きく	白さび病						
ばら	うどんこ病						
ホップ	うどんこ病、灰色かび病		200～700ℓ/10a				
うめ、ぶどう	灰色かび病						
もも、ネクタリン、おうとう	灰星病	1000～2000倍					
たばこ	うどんこ病	500～1000倍	100～180ℓ/10a	収穫3日前まで		2回以内	2回以内

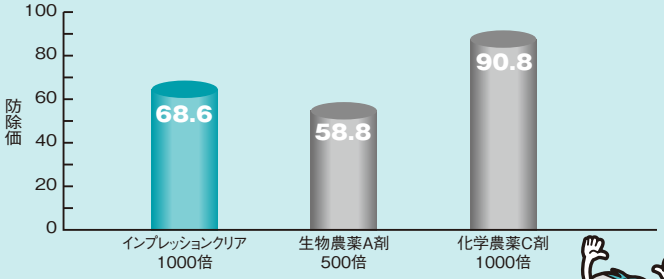
■イチゴうどんこ病に対する効果



■試験概要
試験年度：2012年
場　　所：油田アグロリサーチ
発生状況：少（接種）*1　供試作物：いちご（品種：とよのか）
処 理 日：10月5日、12日、19日
調 査 日：11月2日
*1：2012年10月6日に、自然発生していたイチゴ罹病株を各処理区の緩衝区に設置した。



■トマト灰色かび病に対する効果（社内試験）



■試験概要
試験年度：2014年
場　　所：エス・ディー・エス バイオテックみのり農事試験場
発生状況：中（接種）*2　供試作物：トマト（品種：桃太郎ファイト/グリーンガード）
処 理 日：11月22日、28日、12月5日、11日、18日
調 査 日：12月6日、9日、12日、16日、18日、20日、24日
*2：2013年11月25日に、灰色かび病菌を接種したキュウリ罹病果8本をネットにいれ、各区界に設けた緩衝株上に吊下げた。



特長

- 野菜類のうどんこ病、灰色かび病をはじめ、さまざまな病害に対しても高い防除（予防）効果を発揮します。
- 汚れが少なく、収穫期にも使えます。
- 幅広い作物で使えます。
- 多くの化学農薬と混用可能です。
- 薬剤抵抗性発達の可能性が低く、様々な薬剤、受粉蜂、天敵等と併用可能です。

⚠使用上の注意事項

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使いきってください。
- 本剤の所定量に少量の水を加えてかき混ぜ、その後所定量となるよう水を加え十分攪拌してから散布してください。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当っては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵してください。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、発病前から発病初期に7～10日間隔で数回散布してください。
- おうとうに使用する場合は、着色期以降の散布は果実に汚れを生じるおそれがあるので注意してください。
- みずいも、みずかけな（水掛菜）、せり、クレソン、くわい、じゅんさい、ひし、まこもたけ、れんこん及びわさびに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 混用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等現地の指導機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。



- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。



- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

⚠保管に関する注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

この印刷物の記載内容は2025年5月現在のものです。　2505SA/TS8

取扱い

JAグループ 農協 全農 経済連

全農は登録商標　第4702318号

サンケイ化学株式会社

本 社　〒891-0122 鹿児島市南栄2丁目9　☎(099)268-7588
九州北部営業所　〒841-0025 佐賀県鳥栖市曽根崎町1154-3　☎(050)3508-7912
宮崎事務所　〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19　☎(0985)25-7051